

関東地方整備局同時発表

平成27年11月11日
道路局 国道・防災課**速報** 10/31(土)に圏央道(桶川北本IC～白岡菖蒲IC)が開通久喜白岡JCT～海老名JCTが約60分短縮(約130分→67分)

東北と湘南がより近くに！

東名では、圏央道外側で2,200台/日増加しているにもかかわらず
内側で4,700台/日減(4%減) 都心を通過する交通の減少に期待！

標記について、別紙のとおり発表されましたので、お知らせします。

なお、詳細につきましては、関東地方整備局、東日本高速道路株式会社の問い合わせ先におたずね願います。

【問い合わせ先】

国土交通省 道路局 国道・防災課 企画専門官 依田 秀則

TEL : (03) 5253-8111 (内線37832)

直通 03-5253-8492 FAX : 03-5253-1620

国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所 副所長 塩谷 正広

計画課長 藤坂 幸輔

TEL : 048-669-1200 (代表)

東日本高速道路株式会社【報道関係専用】関東支社広報課

TEL : 048-631-0222



— 記者発表資料 —

速報 10/31(土)に圏央道(桶川北本IC～白岡菫蒲IC)が開通

久喜白岡JCT～海老名JCTが約60分短縮(約130分→67分)
東北と湘南がより近くに!

東名では、圏央道外側で2,200台/日増加しているにもかかわらず
内側で4,700台/日減(4%減) 都心を通過する交通の減少に期待!

●開通後の交通量

<圏央道> 圏央道の利便性が一段と向上

東北道～関越道 (桶川加納IC～白岡菫蒲IC) : 約34,700台/日 ※1

関越道～中央道 (青梅IC～入間IC) : 約56,700台/日 (16%増) ※2

中央道～東名高速 (相模原愛川IC～相模原IC) : 約46,000台/日 (13%増) ※2

<放射道路> 圏央道内側の東名高速では交通量が減少

東名高速(海老名JCT～横浜町田IC) : 約4,700台/日減少(4%減) ※2

※1 平成27年11月1日(日)～11月7日(土)の日交通量の平均値、※2 平成27年10月1日(木)～10月30日(金)の日交通量の平均値と比較

これから発現していくストック効果を随時発表していきます。

環状道路の4つの役割 ←交通の流れをスムーズに!

<p>1 都心を通るだけのクルマを減らして渋滞緩和へ。</p> <p>通過交通の都心流入を抑制します。</p>	<p>2 郊外からいろいろなルートで都心へ。渋滞も緩和へ。</p> <p>郊外から都心への交通を分散導入します。</p>	<p>3 地域間の移動をスムーズに。</p> <p>周辺地域の移動が直接できます。</p>	<p>4 災害時などの代替の道、確保へ。</p> <p>災害や事故などで一部区間の不通があっても速やかに移動できます。</p>
--	---	--	--

発表記者クラブ

国土交通省記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会
埼玉県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会
千葉県政記者会、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、八王子記者クラブ、立川市政記者クラブ
青梅・西多摩記者クラブ、横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会、相模原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所 TEL:048-669-1200(代表)

副所長 しののや まさひろ 計画課長 ふじさか こうすけ
塩谷 正広 藤坂 幸輔

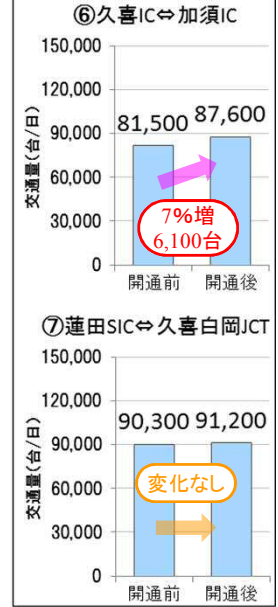
東日本高速道路株式会社 【報道関係専用】 関東支社広報課 TEL:048-631-0222

効果① 開通直後の交通状況

- 圏央道内側の交通が最大4,700台減少（東名高速）
- 今回開通区間（桶川加納IC～白岡菖蒲IC）の日交通量は、平均34,700台/日
- 東名高速から東北道までつながり、圏央道は、関越道～中央道（青梅IC～入間IC）、中央道～東名高速（相模原愛川IC～相模原IC）の交通量が約1～2割増加



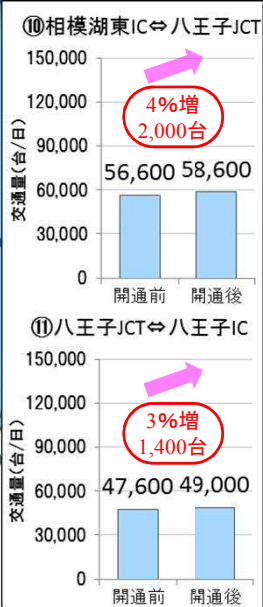
⑥～⑦ 東北道



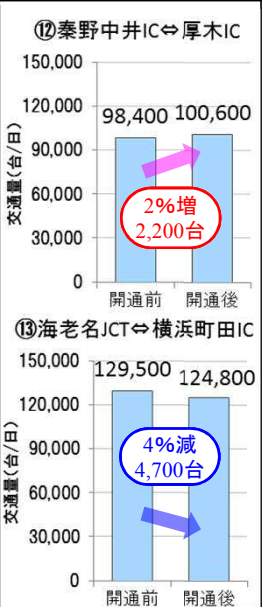
⑧～⑨ 関越道



⑩～⑪ 中央道

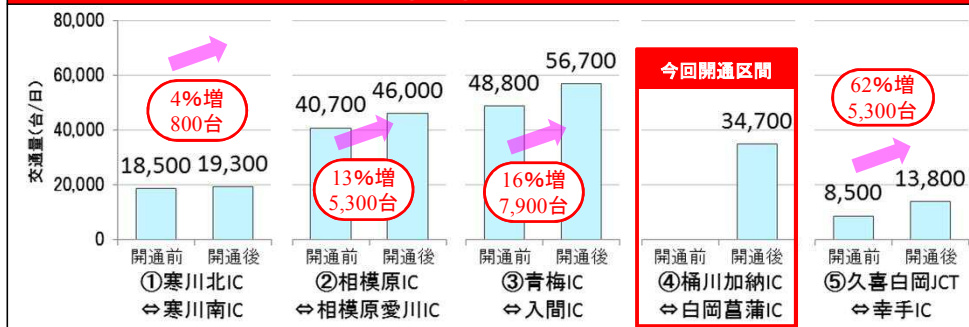


⑫～⑬ 東名高速



凡例
■ : 開通後に増加した断面
■ : 開通後に減少した断面
■ : 開通前後で変化のない断面

①～⑤ 圏央道



出典) NEXCOデータ
 開通前: 平成27年10月1日(木)～10月30日(金)の日交通量の平均値
 開通後: 平成27年11月1日(日)～11月7日(土)の日交通量の平均値

効果② 東北と湘南がより近くに！

- 圏央道の開通により、久喜白岡JCTから海老名JCTへの所要時間が約60分短縮（約130分⇒67分）



久喜白岡JCT～海老名JCTまで	都心経由ルート	東北道→首都高速→東名高速	約130分
	開通後ルート	圏央道	67分

約60分短縮

所要時間：

都心経由ルート：H22センサス(混雑時旅行速度)による最短時間ルートの所要時間

圏央道開通後ルート：NEXCOデータによる朝のピーク時(7時～9時)平均値

期間は平成27年11月2日(月)～11月6日(金)の平日

圏央道開通区間概要

●首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化、沿線都市間の連絡強化等を目的とした、都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。現在までに約241kmが開通しています。

●今回開通区間の概要

路線名：国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

○開通区間：桶川北本IC（埼玉県桶川市川田谷）～白岡菖蒲IC（埼玉県久喜市菖蒲町上大崎）

○開通日：平成27年10月31日（土）15時

○延長：10.8km

○車線数：4車線

○開通IC：桶川加納IC

○開通PA：菖蒲PA

【圏央道 桶川北本IC～白岡菖蒲IC間の開通後1週間の交通量】

日付	日別交通量 ※1		備考	天候 ※2
	おげがわきたもと 桶川北本IC～桶川加納IC間	おげがわかのう 桶川加納IC～白岡菖蒲IC間		
10月31日（土）	18,300台	19,100台	15時開通（9時間交通量）	曇
11月1日（日）	37,100台	38,600台	24時間交通量	晴のち曇
11月2日（月）	30,100台	30,400台		雨のち曇
11月3日（祝）	36,200台	37,000台		晴
11月4日（水）	32,600台	33,100台		晴
11月5日（木）	33,600台	33,600台		晴のち曇
11月6日（金）	35,700台	36,000台		晴
11月7日（土）	33,800台	34,400台		曇

※1 交通量はETC車以外も含む全車種合計の本線交通量（トラフィックカウンター[道路に備え付けられている交通量（概数）の自動計測装置]による速報値）
 ※2 天候は埼玉県熊谷市の昼の天気概況を記載（気象庁ホームページより）

■今回開通区間の位置図

